**別紙５－１**

「JForest○○森林組合ビジョン2030」は、令和３年秋に予定している「第29回全国森林組合大会」において全国方針としての「JForestビジョン2030（仮称）」を決議した後、各森林組合の理事会・総会等で決議いただくものです。検討用のため、参考様式として先行してお送りします。

**森林組合系統運動方針**

**JForest〇〇森林組合ビジョン2030**

**（案）**

**令和○○年○月**

**○○森林組合**

JForest○○森林組合ビジョン2030

目　　　次

Ⅰ　全体概要

Ⅱ　10年後の夢・目指す姿

Ⅲ　取組内容

Ⅳ　目標設定

Ⅰ．全体概要

１．全国統一目標（スローガン）

～地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展に向けて～

　我々森林組合系統は、厳しい林業経営環境において、地域の森林を守り育て、組合員の経済的社会的地位の向上に取り組んできた。

　令和６年度より森林環境税が広く国民から徴収される中、地域の森林整備の主たる担い手として、森林環境譲与税の活用に協力しつつ、引き続き適切な森林の利用・保全を通じて森林の持つ公益的機能の維持・増進を図り、SDGsの達成に貢献していく。

　その上で、先人たちが植えた人工林が成熟期を迎えた今こそ、森林組合系統を挙げて、持続可能な林業経営を通じて、以下の３つの課題に取り組むこととする。

　（１）組合員サービスの向上

　　　組合員の意向が多様化している中、協同組合として組合員に対して「何ができるか」を考え実践する。その一つとして、組合員への一層の利益還元を実現する。

（２）働く人の所得向上・就業環境改善

　　他産業との賃金格差や労働環境等の課題がある中、内勤職員・現場技能者について所得の向上・労働安全対策をはじめとした就業環境改善を進める。

（３）事業拡大・効率化による経営の安定

　　　人工林が成熟期を迎え林産事業・販売事業が拡大し、また森林環境譲与税や森林経営管理制度、森林組合法改正などの新たな仕組みが始まった中、事業拡大やICTの活用を含めた効率化を進め、安定的黒字経営を実現する。

２．運動期間

　令和12年度末まで

* 令和７年度に５年間の取組事項の成果検証を行う。

Ⅱ．10年後の夢・目指す姿

「新系統運動検討用ワークシート」を活用している場合、シート２を元に記載。

１．夢

２．目指す姿

　（１）職員・組合員について

　（２）事業について

　（３）その他

３．ダイナミックな組織・事業再編の検討

新系統運動検討用ワークシートのシート４「ダイナミックな組織・事業再編」について、実施する場合は適宜記載。検討段階のもので可。実施の予定がない場合は欄ごと削除して構いません。

Ⅲ．取組内容

新系統運動検討用ワークシートを活用している場合、シート３の「夢・目指す姿を実現するための５年間の具体的取組内容」にそれぞれ記載した内容を元に記載

項目１：都道府県・市町村と連携した地域森林管理体制の確立

（１）地域の森林管理方針（長期ビジョン）の協議

　（２）森林環境譲与税の有効活用

　（３）森林経営管理制度の推進

項目２：循環型林業の確立と系統の木材販売力の強化

（１）森林の適切な整備と災害対応

　（２）低コスト・循環型林業の確立

　（３）原木共同販売体制の構築と事業連携の推進

項目３：高度人財の確保・育成

　（１）職員の新規採用と人財育成

　（２）森林施業プランナー・森林経営プランナーの育成

　（３）現場技能者の地位向上・労働災害の撲滅

項目４：協同組合として組合員に信頼される組織体制の確立

（１）組合員の参画促進・組合員ニーズへの対応

　（２）森林組合経営の強化・健全化

　（３）コンプライアンス態勢の強化

項目５：国民生活及びSDGsへの貢献

　（１）SDGs宣言の実施

　（２）異業種との連携

Ⅳ　目標設定

「新系統運動検討用ワークシート」を活用している場合、シート５を元に記載。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | | 令和2年度  現状 | 令和7年度  目標 | 令和12年度  目標 | 備考 |
| 基本情報 | 職員数（現場技能者除く） | | 人 |  |  | ◇ |
| 現場技能者数 | | 人 |  |  | ◇ |
| 数値項目 | 新植面積 | | ha | ha | ha | ◆ |
| 間伐面積 | 切捨 | ha | ha | ha | ◆ |
| 利用 | ha | ha | ha | ◆ |
| 主伐面積 | | ha | ha | ha | ◆ |
| 林産事業量 | 主伐 | m3 | m3 | m3 | ◆ |
| 間伐 | m3 | m3 | m3 | ◆ |
| 販売事業量 | | m3 | m3 | m3 | ◆ |
| 林産・販売事業量のうち  連合会を通じた販売量 | | m3 | m3 | m3 | ◆ |
| 森林施業プランナー認定者数 | | 人 | 人 | 人 | ◇ |
| 森林組合監査士資格取得者数 | | 人 | 人 | 人 | ◇ |
| 休業４日以上死傷病発生人数 | | 人 | ０人 | ０人 | ◆ |
| 事業利益 | | 千円 |  |  | ◆ |
| 経常利益 | | 千円 |  |  | ◆ |
| 当期剰余金 | | 千円 |  |  | ◆ |
| 取組有無項目 | 常勤理事の設置 | |  |  |  | ◇ |
| 若年層（60歳未満）理事の就任 | |  |  |  | ◇ |
| 女性理事の就任 | |  |  |  | ◇ |
| ホームページ（SNS含む）の運用 | |  |  |  | ◇ |
| 森林経営プランナーの設置 | |  |  |  | ◇ |
| SDGs宣言の実施 | |  |  |  | ◇ |

※◆の項目は当該年度実績、◇の項目は当該年度末時点の実績を示す。例えば「森林施業プランナー認定者数」は当該年度に認定を取得した人数ではなく、当該年度末に在籍している認定プランナーの数となる。

※「休業４日以上死傷病発生人数」は全国統一でゼロを目標とする。「事業利益・経常利益・当期剰余金」は黒字決算を目標とし、数値目標の設定は行わない。

※取組有無項目については当該年度末において実施済の場合〇とする。 ただし、「常勤理事の設置」については、代表理事の場合◎、代表権の無い理事の場合〇とする。また、「ホームページ（SNS含む）の運用」については、１年以内に更新している場合◎、更新されていない場合〇とする。

※「SDGs宣言の実施」及び「森林経営プランナーの設置」は令和３年度以降の取組のため令和２年度の実績はなし。

県全体あるいは組合独自で追加で取り組む項目があれば自由に追加して構いません。